

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公開番号】特開2006-232606(P2006-232606A)

【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-035

【出願番号】特願2005-48975(P2005-48975)

【国際特許分類】

C 01 G 1/02 (2006.01)

B 82 B 1/00 (2006.01)

C 01 B 13/32 (2006.01)

C 01 G 3/02 (2006.01)

C 01 G 45/02 (2006.01)

【F I】

C 01 G 1/02

B 82 B 1/00

C 01 B 13/32

C 01 G 3/02

C 01 G 45/02

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月31日(2010.8.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水中で、一般式

R CO (NHCH₂CO)_mOH

(式中、Rは炭素数6~18の炭化水素基、mは1~3の整数を表す。)で表わされるペ
プチド脂質と遷移金属イオンとを共存させ、形成した纖維状物質を300~600で焼
結することにより遷移金属酸化物ナノチューブを製造する方法。

【請求項2】

Rが直鎖炭化水素である請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記遷移金属が、²₁Scから³₀Znまで、³₉Yから⁴₈Cdまで、及び⁵₇Laから⁸₀Hgまでのいずれかの金属、又はこれらの混合である請求項1又は2に記載の方法
。

【請求項4】

前記遷移金属酸化物ナノチューブが、平均直径約10~1000nm、平均長さ約1~100μmであって、遷移金属酸化物から成る請求項1~3のいずれか一項に記載の方法。